

別紙様式 1

令和 4 年度東畑中学校区研究推進計画

校番 中 11 呉市立東畑中学校

校長名 小方 幸恵

- 1 学校教育目標
「かかわり 学び 実現する」
- 2 目指す児童生徒像
「主体的に学び、論理的に思考できる児童生徒」

3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
	知識・技能	論理的思考力・ 判断力・表現力	主体性・積極性
後期	学習した内容や方法を、 現実の課題や新たに生じた課題等の解決に駆使することができる。	多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、論理の展開の仕方や表現の仕方などを工夫して、効果的に表現することができる。	目標を明確にし、課題解決に向けて、多様なメンバーと協働し、見通しをもって調整しながらやり切り、学びを自己の生き方につなげることができる。
中期		複数の事柄や資料などを関連付け、整理したり再構成したりして、適切に表現することができる。	課題解決の過程において、対象に対して積極的に働きかけながら、協働したり工夫したりして解決し、学びの価値を考えることができる。
前期 (中学年)		複数の事柄や資料などについて、自分で視点を設けて比較、分類、関連付けてまとめて表現することができる。	課題解決のために、校内や地域の人など対象に自ら働きかけながら、ねばり強く取り組み、その成果から自分のよさや可能性に気付くことができる。
前期 (低学年)		身の回りの複数の事柄や資料について、気付いたことを基に、比べたり分けたり、例えたりして順序よく説明することができる。	家族や友達、地域の人など身近な対象に進んでかかわり、意欲的に学習したり、生活したりして、自分のよさや可能性に気付くことができる。
就学前	[知識及び技能の基礎] 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたりできるようになったりする。	[思考力, 判断力, 表現力の基礎] 気付いたことやできるようになったことを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	[学びに向かう力, 人間性等] 心情, 意欲, 態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。

4 研究主題と設定理由

(1) 研究主題

「主体的に学び、論理的に思考できる児童生徒の育成」

～教科の本質に迫る「考える授業づくり」、協働的な活動を位置付けた生活づくりを通して～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区は、令和3年度、「主体的に学び、論理的に思考できる児童生徒の育成」を研究テーマに、2つの部会（授業づくり部会・生活づくり部会）を中心に授業づくりと生活づくりに取り組んできた。

授業づくり部会では、総合的な学習の時間を中心にカリキュラムマップに基づいて、習得・活用・探究の過程を位置付けた単元を開発し、「考える授業」づくりを進めてきた。また、生活づくり部会では、児童生徒の実態調査の結果から、基本的な生活習慣の定着を図るとともに、仲間と協働して課題を解決していく過程を通して自己有用感の高揚を目指した取組を進めてきた。

これらの取組により、学力の向上が図られ、基本的な生活習慣の定着に一定の成果がみられた。しかし、令和3年度に実施した「論理的な思考」に係る児童生徒アンケート「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。」の肯定的回答は、小学校80%、中学校74%であり、大きく達成しているとは言えない。全国学力・学習状況調査（国語）は、6年+5.4ポイント、9年-2.6ポイント、（算数・数学）の正答率は、6年+2.1ポイント、9年-3.2ポイントという結果であり、中でも「思考力・判断力・表現力」の正答率が低いことを大きな課題として捉えている。

今年度、本中学校区の授業づくり部会で、教科の本質に迫る「考える授業づくり」を追究することにより、児童生徒の主体的に学びたいという意欲とより深い学びを促し、育成を目指す資質・能力、とりわけ「論理的思考力・判断力・表現力」の育成に努めたい。

生活づくり部会においては、「メディアの約束を守ることができた」の項目で、前・中期85%、後期75%の目標値に対して、前期と後期は目標値を大きく上回ることができた。しかし、中期は82%となり目標の85%を達成することができなかった。起床時刻・就寝時刻・メディア視聴に関する継続した取組の必要性を感じている。

自己有用感を見取る児童生徒アンケート「自分の良さは、周りの人から認められている」の設定に対し、結果は、前期78.9%・中期70.8%・後期70.3%となっており、目標を達成することができなかった。特に中期においては、目標値の-9%と大きく停滞している。

「時間の三点固定」への取組と自己内対話により生活改善を図り、協働してやりきる経験とその評価により自己有用感を高めていく必要がある。また、この生活の土台づくりが、児童生徒が何事にも主体的に行動しようという意識改革にもつながる。

以上のことから、本研究主題により、主体的に学び、論理的に思考する児童生徒を育成することができると考え、本主題を設定した。

(3) 研究仮説

- 教科の本質に迫る「考える授業づくり」（本質的な問いや発問の工夫、考えをまとめる場の設定等）を意図的に行えば、児童生徒の学力（主体的に学び、論理的に思考できる力）が向上するであろう。
- 児童生徒に人と関わり協働してやりきる体験をさせ、適切な肯定的評価を実施することにより、児童生徒の自己有用感を高めることができるであろう。

5 研究内容

(1) 委員会・部会

ア 運営委員会・推進委員会

イ 部長・副部長会（授業づくり部会，生活づくり部会）

ウ 部会

○ 授業づくり部会

- ・教科の本質に迫る「考える授業づくり」を推進する。

（本質的な問いや発問の工夫，考えをまとめる場の設定等）

- ・「学びのすすめ」の活用

○ 生活づくり部会

- ・協働してやりきる体験をさせ，適切な肯定的評価を実施する。

- ・交流活動の目的を明確にし，児童生徒自らが主体的に他者に関わり自己有用感を高めていく活動を工夫する。

- ・基本的な生活習慣を定着させるための取組を自己内対話により重点化して行う。

（メディア視聴に関する取組に重点をおく。）

- ・自己有用感を高める手立て（生徒指導の三機能）を取り入れた授業づくりを行う。

○ 小中合同研修会

3校において各1回行う。

- ・6月24日（金）：小中合同授業研（6年・算数・明立小学校）

- ・11月4日（金）：小中合同授業研（5年・国語・原小学校）※朝倉教授招聘

- ・11月8日（火）：小中合同授業研（9年・数学・東畑中）

(2) 東畑中学校区地域公開研究会（自主公開）

○ 10月22日（土） 明立小学校

○ 11月 1日（火） 東畑中学校

○ 11月 4日（金） 原小学校

(3) 小中合同行事

ア 小中合同クリーン活動 11月25日（金）

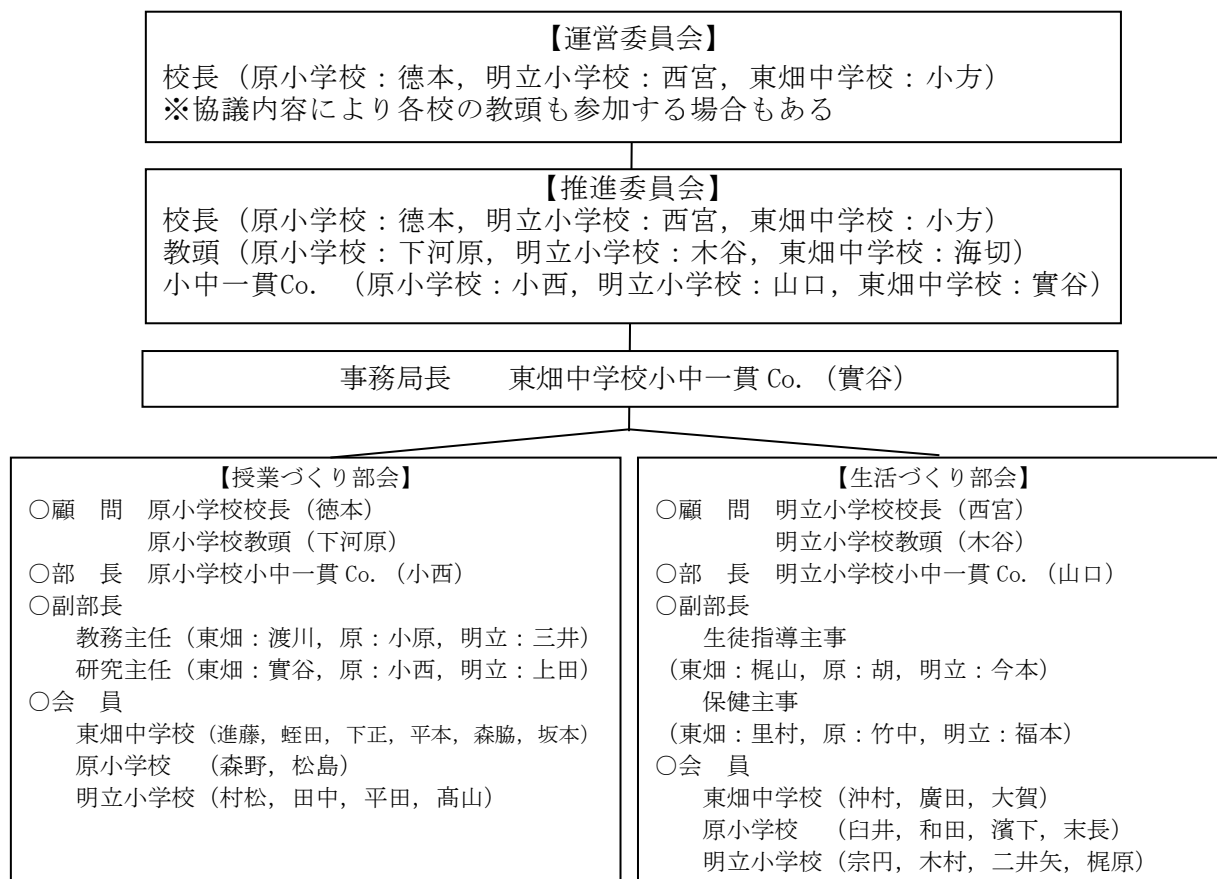
イ オープンスクール（小学校第6学年対象） 1月31日（火）

6 検証について

検証の視点	方法		検証の指標		現状値	達成目標
学力の向上と定着	・標準学力調査（6・9年以外） ・全国学力・学習状況調査（6・9年）	国語	1年	標準学力調査 平均通過率	+4.0pt	+5.5
			2年	標準学力調査 平均通過率	+5.2pt	+6.5
			3年	標準学力調査 平均通過率	+4.6pt	+6.0
			4年	標準学力調査 平均通過率	+4.5pt	+6.0
			5年	標準学力調査 平均通過率	+1.2pt	+3.0
			6年	全国学力調査 平均通過率	+10.5pt	+12.0
			7年	標準学力調査 平均通過率	+6.9pt	+8.5
			8年	標準学力調査 平均通過率	-2.3pt	+0.5
			9年	全国学力調査 平均通過率	-2.6pt	+0.5
		算数・数学	1年	標準学力調査 平均通過率	+6.2pt	+7.5
			2年	標準学力調査 平均通過率	+5.4pt	+7.0
			3年	標準学力調査 平均通過率	+4.8pt	+6.5
			4年	標準学力調査 平均通過率	+2.1pt	+3.5
			5年	標準学力調査 平均通過率	+2.1pt	+3.5
			6年	全国学力調査 平均通過率	+4.5pt	+6.0
			7年	標準学力調査 平均通過率	+7.2pt	+8.5
			8年	標準学力調査 平均通過率	-1.7pt	+0.5
			9年	全国学力調査 平均通過率	-3.2pt	+0.5
	児童生徒アンケート	授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。		前期	81.8%	85%
				中期	71.6%	85%
後期				77.3%	80%	
児童生徒アンケート	「自分にはよいところがある。」		前期	87.7%	90%	
			中期	76.1%	85%	
			後期	78.6%	85%	
	「自分のよさは周りから認められている。」		前期	78.9%	80%	
			中期	70.8%	75%	
			後期	70.3%	75%	
自尊感情・自己有用感の向上						

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業（中→小，小→中）

（中→小）

教科	学級活動	対象学年	第6学年
時数・時期等	原小学校	12月・3月	中学校教員
	明立小学校	12月・3月	中学校教員

※ その他の教科等における乗り入れ授業も検討していく。

（小→中）

補充授業への参加	対象学年	第1学年（第7学年）
8月下旬		

イ 小学校教科担任制等

原小	国語・算数・書写・理科・音楽・図工
明立小	理科・音楽・体育

(3) その他

ア 実技指導

陸上競技部

対象学年 小学校陸上記録会参加児童（第5，6学年）

時数・時期等 原小学校 10月24日（月）

明立小学校 10月25日（火）

※小学校陸上記録会 10月29日（土）

イ 中学校生徒会執行部生徒による小学校児童への生活指導

時期（今後調整）

内容 あいさつや姿勢等について

ウ 防災教育（第五地区防災訓練への参加）

東畑中・明立小は，児童生徒及び掲示物での参加。原小は，掲示物による参加。

8 推進計画

月 日	内容		
	東畑中	原小	明立小
4月11日(月)	運営委員会 本年度の方針及び計画立案		(東畑中16:00)
4月13日(水)	推進委員会 諸計画の日程調整		(原小16:00)
5月10日(火)	部長・副部長会 本年度の活動内容の検討		(明立小16:00)
5月30日(月)	総会 本年度の方針及び活動計画について		(原小15:40)
6月15日(水)	あいさつ運動 はたっこLife・Smileスキル週間に伴うあいさつ運動(明立小へ)		
6月16日(木)	あいさつ運動 はたっこLife・Smileスキル週間に伴うあいさつ運動(原小へ)		
6月24日(金)	小中合同授業研究 明立小6年(算数科) 指導助言者 呉市教育委員会 指導主事様		
6月下旬		全体授業研究2年	ブロック授業研究4年
7月4日(月)	中学校区通信発行 「はたっこ」発行		(担当:東畑中)
8月2日(火)	部長・副部長会 1学期のまとめ, 2学期の計画		(東畑中14:00)
8月5日(金)	2部会 各部会・研究の進捗状況の確認 各部会での今後の取組についての協議		(明立小14:00)
8月8日(月)	推進委員会 2部会を受けて今後の日程調整		(東畑中16:00)
夏季休業中	全体会 サテライト研修「講座番号〇〇:「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」講座」 ※本質的な問いに関する内容を希望(明立小にて実施)		
夏季休業中	中学校へ乗り入れ 補充授業(7年生)		(東畑中学校へ)
2学期中	中学校生徒会執行部生徒による小学校児童への生活指導		
9月中旬			全体授業研究3年
10月初旬			全体授業研究2年
10月24日(月)	陸上技術指導 中学校陸上部生徒・顧問による児童への実技指導(原小へ)		
10月25日(火)	陸上技術指導 中学校陸上部生徒・顧問による児童への実技指導(明立小へ)		
10月下旬			ブロック授業研究5年
10月下旬			ブロック授業研究1年
10月22日(土)			自主公開
11月1日(火)	自主公開		
11月4日(金)	小中合同授業研究 原小5年(国語科) 指導助言者 安田女子大学教育学部児童教育学科教授 朝倉 淳 様		
11月8日(火)	小中合同授業研究 東畑中3年(数学) 指導助言者 呉市教育委員会 指導主事様		
11月9日(水)	あいさつ運動 はたっこLife・Smileスキル週間に伴うあいさつ運動(原小へ)		
11月10日(木)	あいさつ運動 はたっこLife・Smileスキル週間に伴うあいさつ運動(明立小へ)		
11月25日(金)	クリーン活動 児童生徒が協働した地域の清掃		
11月中旬	全体授業研究1年(理科)		
12月5日(月)	中学校区通信発行「はたっこ」発行		(担当:明立小)
12月中旬	小学校へ乗り入れ①中学校と小学校の違い等について説明		(明立小へ)
12月中旬	小学校へ乗り入れ②中学校と小学校の違い等について説明		(原小へ)
1月11日(水)	推進委員会 次年度の日程調整, 研究のまとめ		(東畑中16:00)
1月31日(火)	オープンスクール・部活動体験 次年度中学校入学予定児童及び保護者対象の学校説明会 次年度中学校入学予定児童対象の部活動体験		
2月17日(月)	部長・副部長会 成果と課題の集約, 研究のまとめの修正, 次年度活動計画立案		(明立小 16:00)

2月27日(月)	全体会・2部会 本年度の成果と課題の共有	(原小15:30)
3月6日(月)	中学校区通信発行 「はたっこ」発行	(担当:原小)
3月中旬	小学校へ乗り入れ②中学校生活の準備や心構えについて説明	(原小へ)
3月中旬	小学校へ乗り入れ②中学校生活の準備や心構えについて説明	(明立小へ)
3月16日(木)	運営委員会次年度の方針・計画の協議	(東畑中 16:00)
3月29日(水)	小中連携 次年度中学校入学予定児童の情報交換	(東畑中 10:00)

9 その他

- 中学校区通信(年3回発行予定)
- 呉市教育委員会の指導・助言を受け、効果的な実践を行う。
- 呉市教育委員会以外の指導・助言者を招聘し、教職員が理論及び実践力を身に付ける。
- 11月4日(金)の合同授業研究では、安田女子大学教育学部児童教育学科教授・朝倉 淳先生の指導を受ける。

※ 研究構想図、カリキュラムマップを添付する。